

## 事例紹介

### 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム

とねっと

 <https://sites.google.com/site/tonetsince2012/>

#### システムの概要

#### システムの実施目的・地域など

#### 参加団体数と参加患者数

#### 参加の同意方法について

#### 患者さんの同意取得の詳細

#### サービスについて

#### 共有できる情報項目

#### 共有情報の取得元

#### システムについて

#### 通信ネットワーク

#### ログインセキュリティ

#### 主なIT企業

#### サービス利用・参加料金

#### 蓄積された個人情報の利用

#### 予算について

#### 費用の負担について

### システムの概要

システム名	埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム
代表団体	埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会
運用開始状況	導入済み：2012年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	埼玉
自治体の参加状況	運営主体として参画中
事務局運営人数	専任3人

### システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	救急医療対策、医療連携、糖尿病対策、小児医療対策、疾病予防対策、健康管理
地域の課題	人口あたり医師数や看護師数、医療施設数が全国で最も低い水準であり、なかでも、利根保健医療圏は、高齢化率が高く、医療資源の不足が顕著な地域である。今後ますます長寿化が進み、医療を必要とする方の増加が見込まれる中、いか

	にして地域住民に質の高い医療を提供し続けていくかが大きな課題となっている。
システム導入効果 凡例：(○) 効果あり、 (△) どちらとも言えない、 (×) 効果なし	(○) 患者サービスが向上した (○) 患者の負担が軽減した (○) 医療機関間で機能分화가進んだ (○) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ (○) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ (○) 医師の偏在を補う効果があった (○) 患者紹介の円滑化が進んだ (○) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった (○) 診療所の支援が受けられるようになった (△) 業務全体の負担軽減 (△) 医師の負担軽減 (△) 看護師の負担軽減 (△) 事務職員の負担軽減 (△) 技術職員の負担軽減 (△) 従事者間の情報共有が向上した (△) 従事者間の連携が向上した
システムの課題	医療機関および患者の参加者増
工夫した点	行政の主体的参加
対象地域	二次医療圏での連携

## 参加団体数と参加患者数

参加団体と参加患者数	【病院】 実施中：22施設 【医科診療所】 実施中：90施設 【歯科診療所】 実施中：9施設 【薬局】 実施中：29施設 【介護施設】 【その他】 実施中：5施設
利用施設数の割合	
登録患者数状況	実績数
登録患者数	32187
情報共有している患者状況	
共有患者数	

## 参加の同意方法について

医療機関等	医療機関地域全体で参加 医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	

患者さん	患者一括同意 全ての施設毎
------	------------------

## 患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	未選択 登録カードをその施設に提示

## サービスについて

疾病	糖尿病
サービス	健診情報連携、画像情報の共有、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、患者サービスPCアクセスサービス、患者サービスモバイルアクセスサービス、患者による自己管理システム、在宅医療連携、その他のサービス診療・検査予約
補足・備考	参加者の健康管理のため、自身の健康記録を登録できるシステムもあり、参加者個人で入力できるほか、病院等の検査結果や処方自動的に登録され、自身のパソコンやスマートフォンで参照できる。また、紐付けした医療機関ではその登録内容を参照できる。

## 共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	文章その他 読影レポート
オーダ情報	
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	
その他	

## 共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、薬局レセコンより、検査センターより
----------	-----------------------------

## システムについて

連携方式	クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有
患者IDシステム	ID-Linkシステムを利用
標準化ストレージ	SS-MIX 2
情報の保存場所	院外のデータセンター
障害対策	提供ベンダーのサービスを利用
厚労省標準規格の採用	医薬品HOTコードマスター、ICD 10対応標準病名マスター、医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約、臨床検査マスター、JAHIS放射線データ交換規約

## 通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	
患者さんとの通信	患者との通信インターネット

## ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	IDとパスワード
介護施設・その他施設用	
患者さん用	IDとパスワード

## 主なIT企業

企業名（1）	
企業名（2）	
企業名（3）	

## サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：無料
病院（閲覧施設）	実施中：無料
診療所	実施中：無料
薬局	実施中：無料
介護施設	
患者さん	実施中：無料

## 蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施中
学術研究等の公益目的で利用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

## 予算について

構築費用概算	460500（千円）
年間運用費用概算	51322（千円）
保守費概算	40084（千円）
その他年間費用概算	11238（千円）

## 費用の負担について

実施中システム構築費の負担	
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	国の負担（厚労省）
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

- ▶ [医療情報連携ネットワークはなぜ必要？](#)
  - ▶ [出発点は地域医療を良くしたいという思い](#)
  - ▶ [医療情報連携ネットワークの導入効果](#)
  - ▶ [利用者の声（導入効果）](#)
- ▶ [医療情報連携ネットワークをどう作る？](#)
  - ▶ [医療情報連携ネットワークの構築手順](#)
  - ▶ [実施のポイント](#)
  - ▶ [利用者の声（苦労した点、成功要因）](#)
  - ▶ [ガイドライン、書式例など](#)
- ▶ [医療情報連携ネットワークの具体例を見る](#)

- ▶ [医療情報連携ネットワークとは](#)
  - ▶ [データで見る](#)
  - ▶ [ピックアップ事例](#)
  - ▶ [事例を探す](#)
- ▶ [構築手順](#)
  - ▶ [構築手順について](#)
  - ▶ [Step1：計画](#)
  - ▶ [Step2：構築](#)
  - ▶ [Step3：運用](#)
  - ▶ [Step4：更改](#)
- ▶ [FAQ](#)
  - ▶ [用語集](#)
  - ▶ [お役立ち情報](#)
    - ▶ [リンク集](#)
    - ▶ [資料ダウンロード](#)